就職活動応援特集

他部署での経験が今に

三機工業　環境システム事業部
水エンジニアリング1部
水エンジニアリング1課課長補佐
櫛田　浩司さん

■共同研究がきっかけ

私は福島工業高等専門学校を卒業後、長岡技術科学大学に編入学し、廃棄物や水処理の研究を行っていました。その中で、三機工業との共同研究を行う機会があり、そこで出会った方たちの雰囲気の良さを感じ、入社を決めました。

入社してから最初の6年間は実施設計を行う部署に、その後は、民間工場の排水処理や当社の主力製品である「エアロウイング（超微細気泡散気装置）」の提案営業とアフターフォローを行う部署を経て、今年4月からは実施設計を行う部署に戻り、10年ぶりに官庁の実施設計に携わることになりました。

■白図が形に

提案営業を行う部署では正直、何度営業に足を運んでもうまくいかないことも多かったのですが、その分、採用していただけた時の喜びはひとしおでした。自分が白図から描いたものが実際に形になった瞬間は本当に感動したことを覚えています。

また、徐々にお客さまと信頼関係が築けたり、困ったことなどを気軽に相談してもらえる機会が増えていったことも、とてもうれしい出来事の一つでした。

現在は、一度は経験した部署とはいえ、10年のブランクがあるため、後輩の指導にも苦労しているところですが、他部署での経験を生かしながら仕事に取り組んでいます。特に製品のアフターフォローに対応してきたからこそ、お客さまの使いやすさを意識した設計を心がけています。

■この時間は無駄にならない

当社は、平成27年に社長をリーダーとする「スマイル・プロジェクト」を発足し、より働きやすい環境づくりを全社的に進めてきました。昨今は新型コロナウイルスの影響で、当社でもリモートワークの推奨など、できるだけ出社率を減らす取組みを行っていますが、緊急時における早い決断と柔軟な対応がなされ、リモートワークなどに必要なインフラ整備も一気に進みました。

実は私も、学生時代に新潟県中越地震が発生し、研究ができず、モヤモヤしていた時期がありました。ですが、その期間があったからこそ、その後には研究に対するモチベーションも上がり、研究を当たり前にできる環境の大切さを感じることもできました。

今、学生の皆さんの中には、思うように学生生活を送れていないという方もたくさんいると思います。私自身、中越地震を経験したからこそ、学生の皆さんには「この時間も決して無駄にはならない」ということを伝えたいですね。

新しい働き方へ工夫・発想

東京設計事務所　東京支社
プランニンググループ上下水道第1チーム
下田　佑貴さん

■入社してからこれまでを振り返って

入社以来、大阪、東京を拠点に水道計画業務に携わり、転勤や出張で沖縄から北海道まで、さまざまな自治体の業務を担当してきました。

入社後3年目までは業務の目的に沿った資料が作成できなかったり、現地調査の際に忘れ物をしたりと失敗の連続でした。そんな私でしたが、入社4年目に地元長崎で挙げた結婚式では、関西支社のチームメンバーのほぼ全員に参列してもらえたことが、とても良い思い出です。

入社後11年が経った今では、水道研究発表会などでの発表や参加を通じて、計画業務での検討のポイントは何か、相手へ説明すべき内容をどのような順序で話せば伝わるのかなど、考えながら検討や説明ができるようになったと思います。

■コロナ禍における勤務状況

4、5月はテレワーク勤務、6月からは週1日出勤、それ以外はテレワーク勤務を実施しています。

テレワーク勤務では、誰がどの業務を進めているのか把握しにくい面があるため、チャットやテレビ電話を活用しています。また、週1回30分間のWebチーム会議に参加し、業務進捗の確認や相談など情報共有を行い、テレワークでもこれまでと同じレベルの仕事内容を確保しています。

■今一生懸命取り組んでいること

現在は、テレワーク勤務を通じて、チームメンバーとの連絡を密にしながら仕事の進め方の改善を図っています。単純作業から複雑な検討までチームメンバーと考え方を共有して、新しい働き方に合わせたさまざまな工夫や発想を取り入れています。

仕事以外の面では、テレワーク勤務だからこそできる家事手伝いや子どもとのスキンシップを図っています。

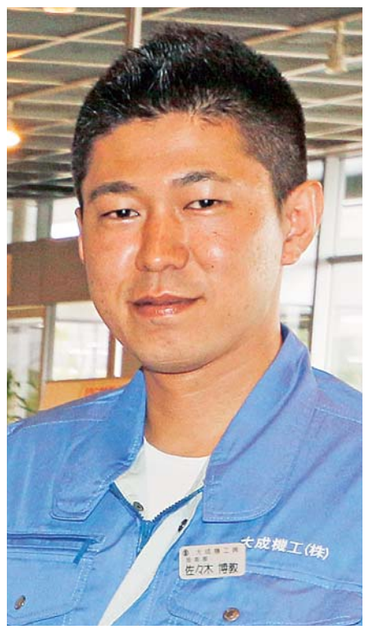
■会社のPR、学生たちへのメッセージ

東京設計事務所は、時代の変化に合わせて柔軟に対応している会社です。グールビズをはじめ、システムツールの開発、フリーアドレス導入やテレワーク勤務など、より働きやすい環境を実現しています。

学生の皆さんにとっては、若手社員が多く在籍しているため、気さくに相談できる環境が整っています。失敗談なども自分が経験する前に先輩方の経験が聞けるので、技術力などのレベルアップには近道ではないかと思います。

水に携わる魅力と誇り

大成機工　技術部係長
佐々木　博教さん



■在宅勤務時の次への工夫

新型コロナウイルス感染症に伴い緊急事態宣言が発令されてからは、当社でも出勤率を下げるため、時差出勤や在宅勤務、サテライトオフィス等の取組みに努めました。情報漏洩防止の観点から機密文章の外部への持ち出しが禁止されているので、在宅勤務の時は次の出勤時には何をするかを念頭に置きながら業務を行いました。

■目標を持つ人を全力でサポート

「いいモノを作りたい」「製品を一つでも多く使っていただきたい」といったように、当社で何をやりたいかという目標を持っている人に入社してもらえればと思っています。目標に向かって頑張る人をチームとして全力でサポートします。

モノづくりへの想いを実現

■一から製品づくりに携わる喜び

私は、小さい頃からモノを作ることが好きで、工具を使って作業をすることに関心がありました。就職活動では、エンジンメーカーのセミナーに参加していましたが、そのような中、大成機工で「担当した製品は、設計から評価や試験までをこなす」という話を聞き、面白いと感じました。他の会社は、設計と試験が分業化されていて、どちらかの仕事しかできない場合があるからです。

入社後、実際に新製品の設計から試作まで携わり、結果を上席に報告しています。モノづくりが好きなので、部品だけでなく試験機も自作しています。自分で作ったものには、やはり思い入れがあります。

入社して4年目からは、不断水管内調査カメラの開発に関わっています。布設後、長年経過した管が増えている中、更新が必要な箇所等の管内情報がピンポイントで得られることから、今後、ますます需要が増えてくるものと思います。

平成30年に「第2回インフラメンテナンス大賞」の厚生労働大臣賞を受賞した「フランジサポート」の開発にも携わりました。この製品は、既存のパイプ同士をつなぐ接合部に取り付けるだけで耐震補強するものです。耐震補強が必要な箇所について、事前に計画的な予防措置を施すことができます。

■被災地での業務で感謝される

平成28年の熊本地震、および平成30年の北海道胆振東部地震では、発災後1週間ほど現地支援に関わりました。断水や漏水が発生している地域に継手や漏水補修金具を届けることも行いました。自治体の方をはじめ、地元の方から感謝の言葉をいただいた時はうれしかったですね。

誠実を旨とし
優れた技術者を育て
良い作品を残す

TECグループ

TEC（ティイーシィ）
株式会社 東京設計事務所
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役会長 亀田　宏
代表取締役社長 狩谷　薫

TECI（ティイーシィアイ）
株式会社 TECインターナショナル
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役社長 狩谷　薫

水と環境の創生コンサルタント
NSS 日本水工設計

ずっともっと
水と
ともに。

積極採用中!
←採用HPはこちら

（公社）全国上下水道コンサルタント協会会員
日本水工設計株式会社
代表取締役社長　本名　元
本社：〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1
TEL.03-3534-5511　FAX.03-3534-5534
支社：東京・名古屋・大阪・広島・九州
http://www.n-suiko.co.jp